

# カリキュラム構成（博士後期課程）

博士（獣医学） ※30単位以上

博士（畜産衛生学） ※14単位以上

博士（農学） ※12単位以上

博士後期3・4年

博士後期2年

博士後期1年

博士論文公開審査会

博士論文の提出

進捗状況審査（畜産衛生プログラム受講者は学位選択・判定） / 論文中間審査

帰国後、報告書の提出及び成果発表会を実施

短期・長期海外研修

（海外リサーチ演習、海外フィールドワーク演習）

獣医学専攻選択科目

（共通選択含め12単位以上）

- 基礎獣医学、臨床獣医学、応用獣医学の各分野に係る特論及び特別演習
- 動物医療センター、動物・食品検査診断センター、原虫病研究センターの学内3センターによる特別演習

選択科目（6単位以上）

（食品安全マネジメント・内部監査演習、家畜疫学特論、家畜衛生学特論、衛生経済学特論、国際衛生制度特論）

協定大学であるウィスコンシン州立大学ないしコーネル大学に長期派遣。世界最先端の研究現場においてグローバルに活躍できる研究者としての基礎力を涵養する

獣医学専攻必修科目（9単位）

英語科目  
獣医・農畜産学特別講義  
獣医学特論Ⅰ・Ⅱ  
獣医学特別演習Ⅰ・Ⅱ

必修科目（1単位）

（獣医・農畜産学特別研究）

畜産衛生学位プログラム

畜産科学専攻選択科目

（共通選択科目含め3単位以上）

英語科目  
獣医・農畜産学特別講義

進捗状況審査（畜産衛生学位プログラム受講者は学位選択・判定）

共通選択科目

（国内リサーチ演習、国内フィールドワーク演習、リサーチプロポーザル演習、リサーチデータ解析演習、リサーチペーパーライティング演習、リサーチマネージメント演習、アカデミックレクチャー演習、アカデミックティーチング演習、社会人特別演習、食品安全マネジメント・内部監査演習）

共通必修科目（3単位）（リサーチコミュニケーション、獣医・農畜産学特論、獣医・農畜産学特別演習）

獣医学専攻

畜産科学専攻

特別研究（6単位）

特別研究（6単位）